

第30回サル疾病ワークショップ

# 参加者アンケート回答集計

# アンケート設問

回答依頼日 2022年7月1日

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeJl80YDedjJEe\\_TCMD-r7KkRHq5WAdN2d7k8x15ARVOEWhUA/viewform](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeJl80YDedjJEe_TCMD-r7KkRHq5WAdN2d7k8x15ARVOEWhUA/viewform)

赤字 回答必須項目

< > 内 選択肢

回答総数 25件

回答率 28.7%

## Q1. 今回のサル疾病ワークショップについて

- ・ **参加形式**  
<現地会場・オンライン>
- ・ 開催日に関するご意見
- ・ 現地会場に関するご意見
- ・ オンラインアクセスに関するご意見
- ・ テーマに関するご意見

## Q2. 今後のワークショップについて

- ・ 希望するテーマ
- ・ その他要望事項

## Q3. 「サル類の疾病と病理のための研究会」について

- ・ ご要望・ご意見

## Q4. その他ご意見

## Q5. ご回答者様について

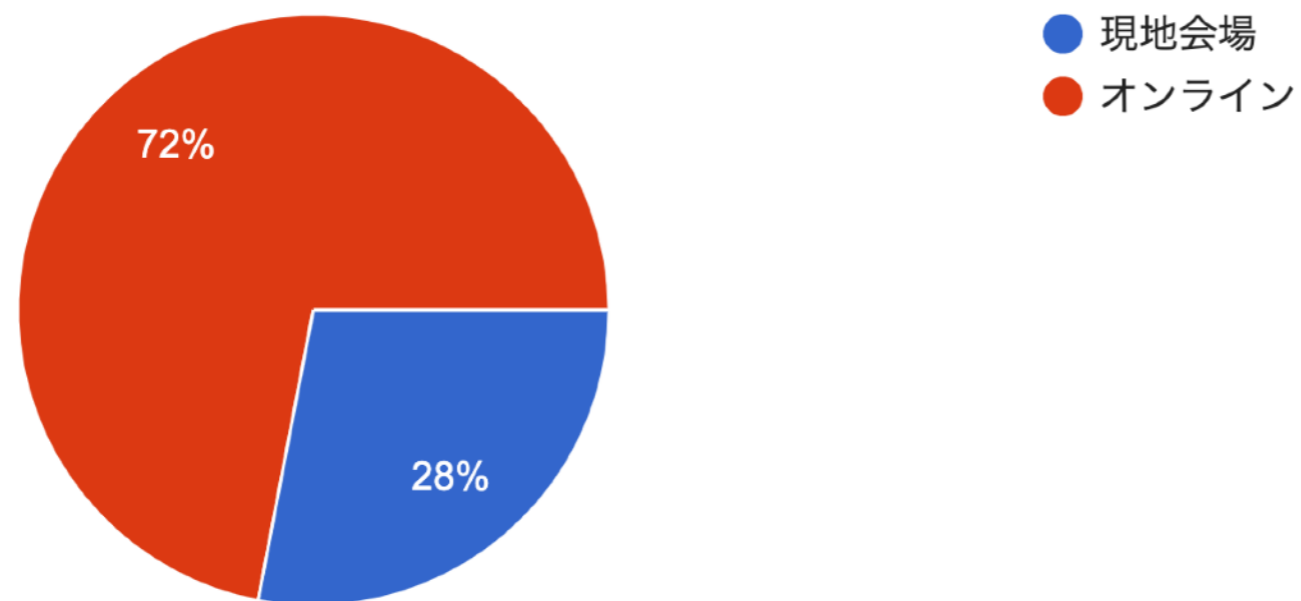
- ・ **SPDPメンバーシップについて**  
<会員・会員ではない・会員ではないが入会について教えて欲しい>
- ・ お勤めの施設  
<試験・研究・展示・臨床開業・大学・教育・学生・その他>
- ・ お仕事で主に扱うサル種  
<カニクイザル・アカゲザル・ニホンザル・リスザル・マーモセット・類人猿・原猿類・サルは取り扱わない・その他>

**Q1. 今回のサル疾病ワークショップについて**

## Q1. 今回のサル疾病ワークショップについて

### Q1-1. 参加形式

回答数: 25件



#### 実参加者状況

参加者総数	87
・ 現地会場	26 (29.9%)
・ オンライン	61 (70.1%)

## Q1. 今回のサル疾病ワークショップについて

### Q1-2. 開催日について

回答: 22件	回答者
適切	[U]
時期も曜日も適切かと思います。	[B]
ちょうど良かった	[M]
特に問題ございませんでした。	[L,X]
特に不都合ありませんでした。	[N]
金曜日の開催でいいと思います。	[F]
特になし。	[C]
特にありません	[Q,W]
オンライン参加なのでとくに無し	[S]
On Lineであれば、移動が不要なので問題ありません。	[V]
毎年同時期の恒例行事なので予定しやすいです。	[G]
適切であった。私としては週末（木、金、土）であれば参加できますので。	[J]
時期は事務局にお任せしますが金曜日開催を希望します。	[O]
特に問題ございません。できれば土曜日ありがたいですが。	[I]
その時々で事情は変わるのですが、週休日（土日）の方が比較的参加しやすいことが多いです	[Y]
自分自身は問題はなかったが、平日だと民間の方は業務と重なったり、アカデミアの方だとちょうど講義、実習あるいは定期試験などで忙しい方もいそうで、土曜日の方がよかったかもしれません。	[H]
四半期明け直後の金曜日に重なっており、また毒性学会も開催されていたため落ち着いて聴講するには人員や仕事の調整が困難でした。土日にしていただいた方が終日の参加はしやすかったと感じます。	[D]
大きな学会とかぶらない日程だとよいと思います。	[K]
獣医学科の学生は7月の平日がテストと実習で参加出来ません。以前のように夏休みか土日にして頂けると嬉しいです。	[E]
駅から歩くには暑かった	[T]

## Q1. 今回のサル疾病ワークショップについて

### Q1-3. 現地会場について

回答: 7件	回答者
何の問題も感じなかった。ハイブリッドという選択に感謝したい。	[C]
つくばでの開催、会場、場所共に文句ありません。	[E]
研究交流センターでの実施が一番よいかと思います。	[F]
問題ないと思います。	[H]
研究交流センターは良いと思います。	[O]
駅から遠かったです。	[L]
つくば駅からそんなに遠くないけれど朝8時でも暑かった	[T]

## Q1. 今回のサル疾病ワークショップについて

### Q1-4. オンラインについて

回答: 22件	回答者
非常にスムーズでした。	[U]
概ね満足しております。	[X]
会場でZoomも利用し、リアルとZoom間で時間的なズレとかトラブルもあったが仕方が無いと私は考えており不満は無い。	[C]
アクセス状況が良いとき悪いときが予測できないのが欠点ですが、その他はメリットばかりで、総合するとメリット部分が多いと思います。	[V]
現地に行かずに聴講できるのは最大の魅力であり、これまでよりも参加のハードルが格段に下がるため、今後もオンライン開催していただけるとよいと思います。発表者のマイクが遠く、聞きづらい印象はありました。	[D]
職場から聴講可能であった点は良かったが、会場の音声が聞き取りづらい点が不便でした。	[N]
アクセスは問題なく出来ました。会場の音声が聞きずらかったです。	[P]
会の進行中にも言及がありましたが、会場音声はやはり聞き取りづらい場面が多かったです。	[W]
オンラインは時間・費用の節約ができ参加しやすいと思います。一点今回はハイブリッドだったため会場の音声が聞き取りにくかったです。オンライン参加の演者の音声は大丈夫でした。	[Q]
わざわざ会場に行かなくて参加できるところが良い。短所として、オンラインで講演された先生方の音声はよく聞こえたが、会場の音声が聞き取りずらかった。zoomに表示される名前の変更依頼を出していたがホスト側で制限がかかっていたか変えることができなかった。	[S]
会場の音声が聞き取りにくかった。 またスライド共有に時間が掛かった印象。	[A]
会場の音声がこもっていて聞き取りにくいことが多かったです。	[B]
少し、講演の音が聞き取りにくい（音が割れている？）時が多く、自身のパソコンの問題なのか、確認できず、対応できずで困りました	[Y]
タイムラグや待ち時間、接続トラブルとオンラインならではの弱点が出ていました。	[E]
会場とWEBの接続が悪かったようですので、改善が必要と思います。	[F]
画像のキレイさを優先し、開催者側から画像を写す方式を取ったと聞きましたが、開催者の手間が大変そうで、演者切り替えに手間取っていました。進行を優先するなら、演者自身が自分の画面を共有するやりの方がよかったかもしれません（すでに多くの方がネット会議などをご経験で、慣れてらっしゃると思います）。	[H]
全体的に音声が聞きづらかったです。また、画面のオンライン発表者への切り替えがもっとスムーズだと時間に余裕ができますね。	[G]
発表者側でスライドを共有できる環境にした方がスムーズに進行できると思います。また、会場側の音声は、Zoomに接続しているPCに直接つなげた收音マイクにした方がクリアだと思います。	[I]
会場発表者、座長の声が籠った様になり、良く聴き取れなかった。	[J]
会場からの音声が聞こえづらかったです（特に質疑応答）。	[K]
会場の接続状況が難だった。講師が直接配信しても良いのでは	[M]
Onlineで発表される方に切り替わるときの操作に時間が掛かっていたことが気になりました。スムーズに進行できるよう、事前にマニュアルを配布する等をされた方がよいのではないのでしょうか。	[R]

## Q1. 今回のサル疾病ワークショップについて

### Q1-5. テーマについて

回答: 20件	回答者
テーマが細かく内容がかみ合っていない気も致しました。もっとざっくりしたテーマにして多岐に渡る内容が聞ける方が研究会の目的に合致しているような気が致します。	[E]
とくになし	[S]
勉強になった	[T]
大変勉強になりました。	[L]
興味深い内容であったと思います。	[J]
どちらのテーマも興味深い内容でとても勉強になった。	[C]
両テーマとも非常に興味のある内容でした。	[F]
現状のトピックスを踏まえた演題で非常に良かったです。	[V]
現状に見合っってよかった。睡眠も創薬からのアプローチがよく理解できた。	[H]
両テーマ（感染症、神経科学）とも霊長類を用いた研究領域の主要分野ですので、今後も定期的に取り上げていただければ幸いです。	[I]
前者の方が、より差し迫って必要という感があり、後者は自分の実務と少し距離があるけれど、こうした機械でないと触れられないという意味では、両方とも興味深かったです <集計者注: 原文まま, 前者: 検疫・感染対策, 後者: 睡眠・脳神経科学>	[Y]
動物管理部門に配属されて日も浅く、特にサル類の検疫および感染症対策、結核検査、病理検査の話は大変参考になりました。	[B]
検疫は動物園でも必須であり、知識共有ができて非常に有意義でした。	[U]
現場に近いものとしては、検疫と感染症はよかった	[M]
「サル類の検疫および感染症対策」について、実際にサル類の輸入・検疫をされている方からデータ・情報を示していただけたのは大変興味深かったです。	[N]
いずれも勉強になりましたが、「サル類の検疫および感染症対策」は特に勉強になりました。	[P]
野生動物→ヒトへの感染症の伝播が注目されがちですが、その逆もあることに改めて気付かされました。	[Q]
結核は特に最近話題になっている感染症のため非常に興味がありました。他の感染症や、サルの抗体保有についての話題も気になります。	[D]
検疫に関して今問題になっているツベルクリン検査の件もあり、とても有用でした。	[W]
今後地球全体として新型ウイルス変異株の出現の脅威にさらされている環境でもあるので、サル類の検疫、感染症対策、様々な実験上サル類の役割は重要であると考えます。	[X]



**Q2. 今後のワークショップについて**

## Q2. 今後のワークショップについて

### Q2-1. 希望するテーマ

回答: 14件	回答者
サルの歯医者さん事情	[G]
現場サイドでの獣医学的管理の在り方や疾病対応（怪我も含む）など、ペア飼育・グループ飼育の意義と問題点など。	[C]
引き続き、検疫および感染症対策、と、漠然としていますが、ストレス対策とそれが実験結果にどう影響してくるか、というようなこと	[Y]
CPC、症例報告などを充実させてほしい。	[J]
サルの「疾患モデル」、「獣医学的管理」、「症例報告」。	[E]
マカクザル・マーモセットのエンリッチメント、マーモセットの下痢（消化器系異常）対策	[B]
サルを使用した動物実験に対する一般市民の捉え方（国内外）など	[Q]
サルの輸入や入手に関する情報	[F]
サルを取り巻く国際情勢	[O]
アデノ随伴ウイルスをベクターとした研究、マラリア	[D]
予防医療について	[M]
近年ますます重要性を増している老化研究、あるいはフレイル研究などはいかがでしょうか。可能ならば、米国Primate Centerの方も招聘したいですね（財団助成金にアプライするなどして）。	[I]
サル痘の現状と対策（一年間の推移）について	[V]
・動物用ツベルクリン      ・マーモセット検疫項目について	[X]

## Q2. 今後のワークショップについて

### Q2-2. その他要望

回答: 18件	回答者
音声やデータ共有の問題からオンラインのみの開催を希望。	[A]
オンラインのみでも良いのでは	[M]
会場の音声状態が改善されないなら、すべてWebで良いと思います。 それよりもコロナがもう少し落ち着いた状況になれば現地開催がベストですが。	[J]
On lineを継続して頂きたいと思います。	[V]
遠方に出向ける機会が限られているため、今回のようにオンラインで受講できる可能性を残していただけたら本当にありがたく思います。	[W]
引き続き、オンラインあるいはハイブリッド開催を希望します。	[B]
今回の形式で満足しております。	[X]
オンラインと現地のハイブリットが希望です できれば現地で聴講したいです	[D]
今回のようなハイブリットを開催を希望します。もう少しディスカッションする時間を設けての方が良いと思った。	[S]
特にございません。できれば、オンラインも継続していただければありがたいです。	[I]
オンラインも行って頂けると参加しやすいので助かります。	[P]
オンライン開催を継続いただけると嬉しいです	[Q]
コロナの対策をしつつ、対面式も増やしていけばよいと思います。	[F]
意見というより単に自分の参加の仕方に対する感想と反省ですが、オンラインは参加しやすい分、普段の業務を引きずってしまい（途中で、作業や業者対応が入ったり）、せっかくの機会なのに集中できない部分もあり、なんとかしないといけないなと思いました	[Y]
以前のように学生が多く参加し、若手の登竜門に出来る様な夏休み、土日の開催を希望します。場所はつくば、麻布大、岡山理科大どこでも参りますので是非対面で！参加費もいくらでも構いませんが、是非学生割引を（出来れば無料が望ましい）お願い致します。	[E]
出来れば対面式が良いが、ハイブリッドでも良い。	[C]
やはり対面が良いとは思いますが、参加者と色々な情報交換が出来ます。	[O]
6月初旬、対面式	[T]

**Q3. 「サル類の疾病と病理のための研究会」について**

### Q3. 「サル類の疾病と病理のための研究会」について

## Q3-1. SPDPに対する要望・意見

回答: 9件	回答者
「海外製サル用ツベルクリン」では迅速に情報提供いただき大変感謝いたしております。	[B]
いつも板垣さんを始め、様々な先生から情報を頂けて助かっております。 私も一員として何かしら一助出来るよう努力いたします。	[D]
日々の業務に追われて、自分では全然、情報検索も追いついていないので、いただける情報はありがたいです。それを読みこなす余裕もない時があるのをなんとかしたいです	[Y]
サル類は管理がマウス等に比べ難しいので、意見交換の場として存在は大切だと思います。	[K]
今後も参加したいです。	[F]
特にありません。	[J]
各種疾病に対する治療法や治療薬の情報提供があると大変参考になるかと思えます。	[Q]
神経科学学会が出した「神経科学分野における霊長類を対象とする実験ガイドライン」について、年限を設けてペア・グループ飼育と獣医師による獣医学的管理の実現を謳っています。特にアカデミアはどういった対応をしているのか。	[H]
研究会にありがちな重鎮たちの同窓会、おしゃべり会にならないように是非積極的な若手の登用を！	[E]

## Q4. その他

## Q4. その他

### Q4-1. 意見・要望など自由記述

回答: 9件	回答者
コロナに圧されて研究活動が低迷する中、事務局をはじめ関係者皆様のご尽力に心から感謝申し上げます。	[G]
大変勉強になりました。今後も積極的に参加させていただきたく存じます。	[L]
ツベルクリン液の入手手続きがより簡便に、価格もより安価になると良いのですが。	[A]
経験ある獣医師がどんどん少なくなり、サルが判る獣医師の育成が課題である。	[C]
毒性試験に使用されるサルは、年齢の若い（3歳）動物しか入手できないという現実、病理屋にとって満足できるものではありません。どうにか出来ないものか。	[J]
今回初めて参加させていただきました。常々、サルを扱う管理面と研究者の立場にはかなり乖離があると感じますが、今回のテーマだとどちらの立場での参加も可能でした。ですので相互理解ができる場であれば理想的だなと思います。	[K]
一般口演は実務に直結する発表が多く非常に勉強になりました。General-04「管理獣医師から見た実験動物（サル）の剖検手技」の詳しい発表内容が聞けなかったのが残念でした。差しさわりの無い範囲で発表予定だったスライドを閲覧だけでもさせて頂けると助かるのですが。	[P]
櫻井先生のサルの病理解剖の手技や注意点に関するお話について、時間制限のために短縮版になってしまったのは非常に残念でした。大事な話題でもあったように思いますので、再度取り上げていただきたいです。(集計者注: 今後のワークショップへの要望項から移動)	[W]
今回は動物用ツベルクリンに関する最新情報が知りたかったので有意義でした。今後も最新情報を知りたいと思いますのでご教示のほど引き続き宜しくお願い致します。	[X]

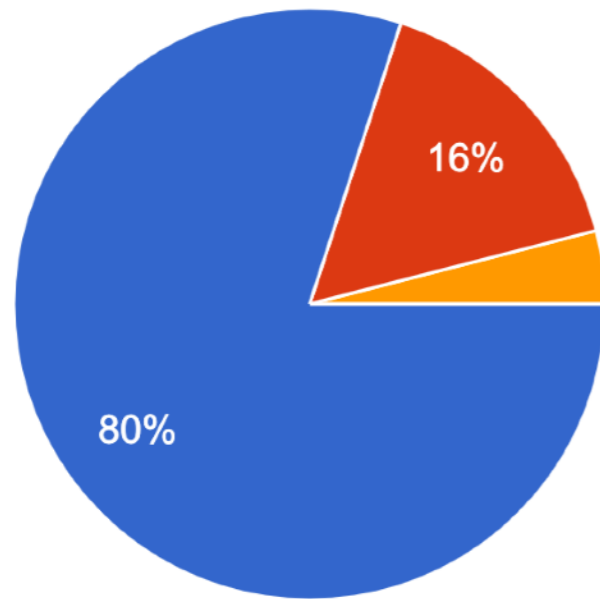
# 回答者情報



## 回答者情報

# メンバーシップ

回答数: 25件

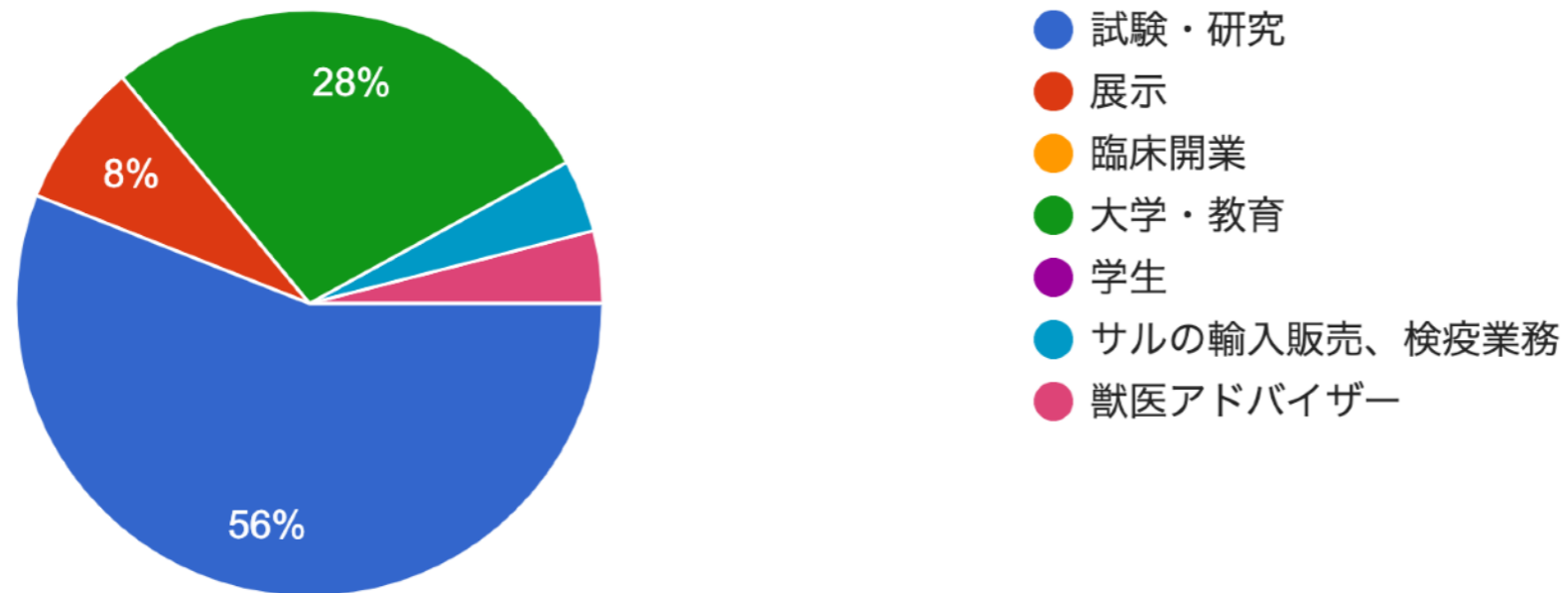


- 会員
- 会員ではない
- 会員ではないが入会について教えて欲しい

## 回答者情報

# 職種

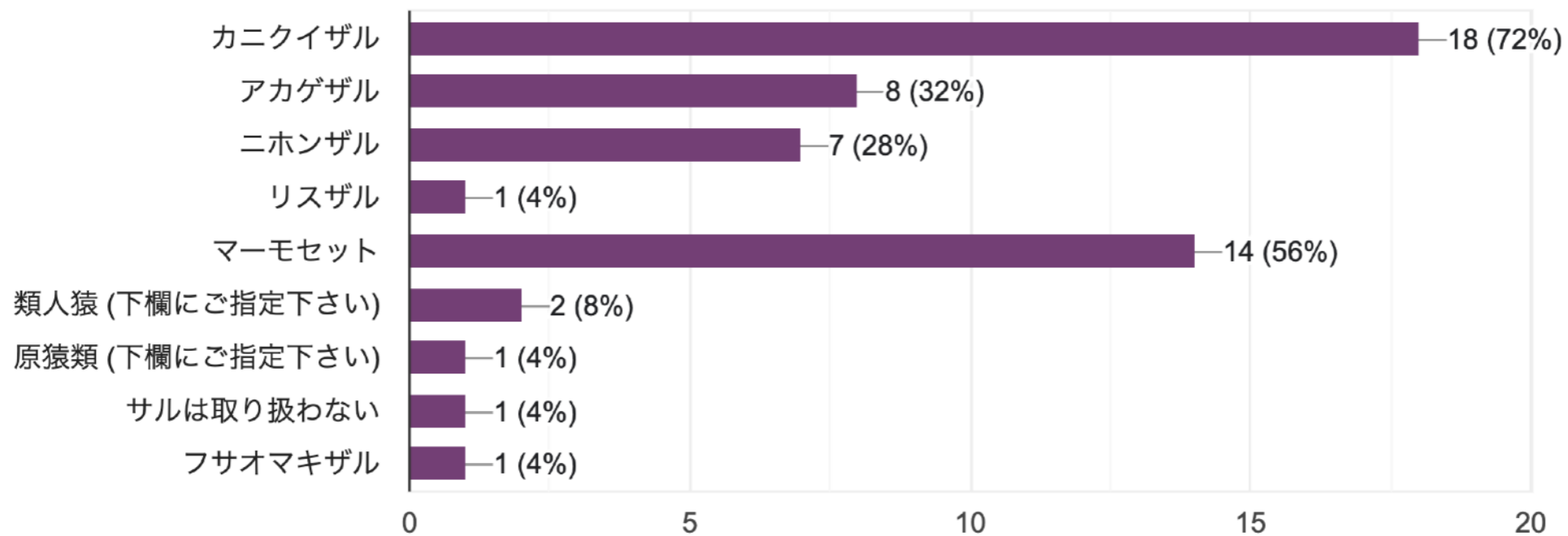
回答数: 25件



## 回答者情報

# 取り扱いサル種

回答数: 25件



## 回答者情報

# 回答者プロフィール

回答者	参加形式	会員/非会員	業務・勤務施設	仕事で主に扱うサル種
[A]	オンライン	会員	展示	カニクイザル, アカゲザル, ニホンザル, リスザル, マーモセット, 類人猿, 原猿類
[B]	オンライン	非会員	試験・研究	カニクイザル, アカゲザル, マーモセット
[C]	現地会場	会員	獣医アドバイザー	カニクイザル, アカゲザル, マーモセット
[D]	オンライン	会員	試験・研究	カニクイザル, アカゲザル, マーモセット, フサオマキザル
[E]	現地会場	会員	大学・教育	カニクイザル, アカゲザル, ニホンザル, マーモセット
[F]	現地会場	会員	試験・研究	カニクイザル
[G]	オンライン	会員	試験・研究	カニクイザル, マーモセット
[H]	現地会場	会員	大学・教育	カニクイザル, ニホンザル
[I]	オンライン	会員	大学・教育	カニクイザル
[J]	オンライン	会員	試験・研究	カニクイザル
[K]	オンライン	非会員	試験・研究	マーモセット
[L]	現地会場	非会員	サルの輸入販売, 検疫業務	カニクイザル
[M]	オンライン	会員	大学・教育	アカゲザル, ニホンザル, マーモセット, 類人猿
[N]	オンライン	会員	試験・研究	カニクイザル
[O]	現地会場	会員	試験・研究	カニクイザル
[P]	オンライン	会員ではないが入会について教えて欲しい	大学・教育	ニホンザル, マーモセット
[Q]	オンライン	会員	大学・教育	マーモセット
[R]	オンライン	会員	試験・研究	カニクイザル, マーモセット
[S]	オンライン	会員	試験・研究	カニクイザル
[T]	現地会場	非会員	試験・研究	カニクイザル, アカゲザル, マーモセット
[U]	オンライン	会員	展示	サルは取り扱わない
[V]	オンライン	会員	試験・研究	カニクイザル
[W]	オンライン	会員	大学・教育	マーモセット
[X]	オンライン	会員	試験・研究	ニホンザル, マーモセット
[Y]	オンライン	会員	試験・研究	カニクイザル, アカゲザル, ニホンザル